

小学校 第5学年 理科 「流れる水と土地」

育成を目指す資質・能力について

- ・流れる水と土地の変化との関係について、実験の写真を撮って比較し、流れる水のはたらきについて捉えている。【思考・判断・表現】
- ・流れる水のはたらきについて興味をもち、進んで実験に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】

事例の概要

	児童・生徒	教師
①	流れる水には、どのようなはたらきがあるか予想する。	予想が出やすいように、雨の後の校庭の様子や、洪水の様子をビデオや写真で紹介し思い出すことができるようにする。
①	実験方法について確認し、実験を行う。	①はじめ②水1回目③水2回目④水3回目の写真を撮るようにさせる。
②	流れる水のはたらきについて、実験結果を情報共有し、予想と合っているか確認する。	写真系の児童が同じ班の児童と教師のタブレットに写真を送るようにして、実験の様子を比較できるようにする。

【活用したソフトや機能】

・カメラ機能 ・ミライシード「オクリンク」 ・電子黒板

【事例におけるICT活用のポイント】

- ① 実験の様子を写真で記録することで、時間が経ってもその時の様子を思い出すことができる。写真を複数枚撮ることで、変化の様子がよくわかる。
- ② オクリンクで送った写真に様子を書きこむことで、流れる水のはたらきと土地の変化との関係についてより理解が深まった。他の班の実験の様子も、教師に送った写真を電子黒板にうつすことで、全体で共有することができた。

【事例におけるICT活用の場面】



タブレットで撮った写真をオクリンクで同じ班の友達に送りました。一人一人変化の様子を見ることができ詳しく様子を観察することができました。